



複数の宛先への NetFlow トラフィックの送信

- [複数の宛先への NetFlow トラフィックの送信 \(1 ページ\)](#)

複数の宛先への NetFlow トラフィックの送信

リソースを節約するために、すべての NetFlow データを 1 つの宛先（Crosswork Data Gateway など）に送信し、他のデバイスに転送することができます。Crosswork Traffic Analysis を使用すると、NetFlow トラフィックを複数の IPv4 アドレスの宛先に転送できます。



(注) OpenStack プラットフォーム（OSP）を使用して Crosswork Data Gateway が展開されている場合、この機能はサポートされません。

ステップ 1 Crosswork Traffic Analysis から、**[設定 (Configure)]** > **[フローレプリケーション (Flow Replication)]** をクリックします。

ステップ 2 **[追加 (Add)]** をクリックします。

ステップ 3 グローバル転送アドレスを入力します。グローバル転送アドレスに加えて、データゲートウェイとデバイスを指定できます。

(注) Crosswork Traffic Analysis は、最も詳細な設定を優先します。たとえば、Crosswork Traffic Analysis は、データゲートウェイ設定よりもデバイス設定を優先します。

ステップ 4 **[保存 (Save)]** をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。